

「臨床外科クリニック 痔核手術」

前 田 昭 二 著

慶応義塾大学講師

小 平 進

本書は一般消化器外科医にとって最もポピュラーな疾患である痔核の手術書であるが、肛門管の局所解剖、生理のポイントを突いた解説に始まり、痔疾患の診断および実際の診察法が述べられ、そして痔疾患の中でも最も多い内痔核を中心として、手術のための術前処置、麻酔、手術手技、術後の管理について記載されている。

全般的に外科の初心者にも理解されやすいように懇切、丁寧に書かれており、特にすべての記述に関して図解されているところが本書の特色

となっている。

現在、大学をはじめとする大きな医療機関病院の外科では、悪性疾患を中心とする消化器疾患の対処に追われ、痔疾患は外来で接する患者さんの数は多いものの、入院させて手術を行う機会は極めて少なくなっており、若手外科医に痔疾患手術についての教育を十分に行える状況でないことは明白である。また、痔疾患のみならず肛門疾患を研究テーマとして取り上げている教育機関も極めて少ないのが現状であると思われる。

著者の前田昭二先生は30年来、

結紮切除法を基本術式として、痔核手術の改良に取り組まれており、多数例の臨床経験より、術後の治療成績が最もよく、かつ、合理的な手術手技を完成するに至ったわけで、本書はその成果を集成したものである。手術手技の記述におけるきめ細かい段階的な図解はあたかも読者が助手として手術を一緒に行っている感じさえ与える。特に、陥りやすい手技上の過ちや術後の合併症を少なくするための種々の工夫、注意点などが細かく述べられており、読者に対する思いやりを感じさせる。

そして初心者が本書を頼りに手術を行っても、患者さんに十分な満足を与える手術を行うことが可能ではないかと思われると同時に、本書の内容全般に関しては、教育する立場の医師にとっても一読に値するものと思われる。

●B5判変型 224頁 図150 写真43
原色図10 1990 定価6,180円(税込)
〒300

医学書院 刊